

会 議 録

会議の名称		令和2年度 第2回春日部市高齢者保健福祉計画等推進審議会	
開催日時		令和2年9月30日(水)	開 会 午前・午後 1時30分
			閉 会 午前・午後 2時50分
開催場所		市役所本庁舎2階 全員協議会議室	
議長(委員長等)氏名		北島 義典	
出席者	委員氏名	(出席人数: 12人) 北島義典、中村靖史、宣賢奎、大熊誉隆、岩谷幸江、江口元勝、油井仁、島津有紀子、斉藤孝、木村好子、山本榮一、松尾勇	
	説明者 その他	(出席人数: 3人) 高齢者支援課長寿企画担当主幹 新谷弘樹、高齢者支援課高齢者支援担当主幹 小須田正和、介護保険課計画・事業指導担当主幹 湯浅裕子	
	事務局	(出席人数: 11人) 福祉部長 宇内啓介、福祉部次長 飯口信彦、高齢者支援課長 折原武志、高齢者支援課長寿企画担当主査 石澤由里子 健康保険部長 新井道彦、健康保険部次長 佐藤和正、介護保険課長 内藤道夫、介護保険課介護保険担当主幹 中澤一城、介護保険課介護認定担当主幹 木村則子、介護保険課地域支援担当主幹 小林博人、介護保険課計画・事業指導担当主査 新井公代	
次第及び公開、一部公開、非公開の区分		議題 (1)「第7期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」の介護保険サービス給付費等実績について (2)「第8期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画(案)」について	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当: <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当:	
配布資料		<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ (資料1) 介護保険サービス給付費等実績について ・ (資料2) 第8期計画の基本的な考え方 ・ (資料3) 第8期計画(案) ・ 前年度からの伸び率の推移 	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録	
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録	
		<input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		会長が署名する	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
事務局	【1 開会】
会長	《あいさつ》
市長	《市長あいさつ》
会長・市長	【2 諮問】 「第8期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（案）」 《市長退席》
事務局	《審議会成立の報告》 《傍聴人なしの報告》
	【3 議事】 (1) 「第7期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」 の介護保険サービス給付費等実績について
議長	《事務局に説明を依頼》
事務局	《「第7期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画」 の介護保険サービス給付費等実績に基づき説明》
議長	ただ今の説明について何か質問はありますか。
委員	老健が1施設廃止されましたが、その理由とその施設入所者はどうなったのでしょうか。
事務局	管理者であった医師が退職するにあたり、後任が見つからずに廃止となりました。こちらの施設は25の方が入所する施設でしたが、その時期に新しく2施設 200床が開設していましたので、そちらの施設に無事に移られたと報告を受けています。
委員	《承認》
	【議事】 (2) 「第8期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（案）」について

議長	《事務局に説明を依頼》
事務局	《「計画の基本的な考え方」「第8期春日部市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画（案）」について説明》
議長	ただ今の説明について何か質問はありますか。
委員	資料3 P 9の要介護認定率については、被保険者は第1号被保険者のみなのか、第2号被保険者を含むのかをお教えていただきたい。
事務局	こちらの数字については、第1号被保険者のみの認定率を出しています。
委員	7万人に対する認定率ですね。となると、県、全国より認定率が低いことを良い意味で解釈すると、春日部市では「そらまめ体操」や「春日部えんJOYトレーニング」等のリハビリの成果等が出ていて認定率が低い、少ないという効果が出ています。違う見方をすると、認定審査が厳しいのではないかとの見方もできます。平均より認定率が低いのは、どのような効果があつて表れているか教えていただきたい。
事務局	認定審査の状況ですが、全国一律基準の下で実施していますので、春日部市が厳しいという状況はありません。原因の詳細な検証はしていませんが、介護保険を必要として認定を受ける方が少ない、運動など身体を動かしている方が多いのではないかと捉えています。詳細検証まではまだ行っていません。
委員	和光市では、介護支援の効果을上げて介護認定率が10%を切っていると伺っています。春日部市では将来的に認定率の目標値を定めているのでしょうか。
事務局	春日部市において全体の認定率は定めてないですが、第2次総合振興計画において、後期高齢者75歳以上の方の認定率については26.0%の数値を定めています。こちらは、全体から見るとすごく上がるように見えますが、認定率が上がらないように現時点の26.0%を続けられるようにという総合振興計画上の数値を持っているのみになります。
委員	資料2の見直し要素で、「⑦災害や感染症対策に係る体制整備」が増えたことは非常に良いことだと思います。コロナがかなり問題になったので国が方向として入れたということです。資料3 P 37 施策

	<p>展開5の福祉避難所に関する記載が非常に曖昧な表現だと思われます。大地震、大水害は確実に起こりうるため、この部分をもう少し具体的に力を入れていただきたい。また、その下の新型コロナウイルス感染拡大防止の観点に関しては、パンデミックの恐れのある感染症は新型コロナウイルス以外にも多種多様にあるため、具体的な対策をしていただくとより良い計画になるのではと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>防災部門でも災害に対するマップの作成、避難所における災害訓練を実施しています。災害が起きてからでは遅いということも重々承知していますので、防災部門の認識、今後の展開等についても今話しをいただいたことを含め検討していく必要がありますので、担当課と調整しながら検討します。また、新型コロナウイルス、インフルエンザ以外に対しても検討しないといけないとご教示いただきましたので、その部分についても関係部門と調整して計画に落とししていきたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3 P38「成年後見制度」に関してですが、地域包括支援センターでも成年後見制度に関する相談が増えてきています。第3地域包括支援センターでも、この3年間で1件ずつ市長申立てにつないだ状況です。第7期計画期間中で市長申立ては、計画値を超えた件数で申立てをいただいた状況が続いていると認識していますが、今後の計画の中で増やしていく考えはあるのでしょうか。また、安心安全なまちづくりの推進に、成年後見制度の利用促進がありますが、アンケートでは7割程度の方が制度そのものを知らないとの返答があることも非常に問題だと思っています。この制度に関わっていて、この制度に繋げて行きづらさも感じています。他市では、社会福祉協議会に成年後見センターがあり相談等を行っているところもありますが、市のバックアップがあってやっていけるものと感じています。そういったことが進むと良いと思うので、よろしく願いしたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>成年後見制度の相談件数、申立件数は増加傾向にあります。制度については、本人の権利を後見人が代理人として担うことから、慎重に必要であるかを検討したうえで、後見申立ての判断をしているところであり、今後の目標値についても十分検討を重ねたうえで方向性を決める必要性があります。また、権利擁護に関しては成年後見制度の基本計画ができたことで、市の計画を新たに策定することを、この第8期計画の中であわせて策定する方向です。第5章の施策展開の中で今後の具体的な方向性を定めていきますが、実際には権利擁護が必要な方を早期に発見・支援する地域連携ネットワークの体制整備、中核となる機関の方針など、支援の方向性を今後明</p>

<p>委員</p>	<p>確に定めていきます。</p> <p>高齢者の福祉を考えるにあたり、65歳以上の高齢者全てが同じ高齢者という訳ではありません。アクティブシニアの方、フレイル段階にあるシニアの方、要介護の方、それぞれの段階に応じてどのような施策が必要なのか、ここからどのように基本理念と施策に繋げるかを考えてほしい。もちろん要介護の方にとって何が重要なのかということとはとても大事なことだと思いますが、高齢者の方に何か与えれば生きがいになるだろうとの考え方は違うと思います。また、コロナ時代になり一番大きかったのは人とのコミュニケーションです。他人と会えなかった高齢者が、インターネットとアプリを利用して交流が広がり、リモートで人と人のつながりが出来始めている。突飛な意見かもしれないが、高齢者同士のつながり、高齢者と医者とのつながり、見守りをする人とのつながりがネットでできる時代になりますので、これに対応する準備が必要だと思います。春日部市だけの話ではないですが、そういったことを見据えたうえで、高齢者のコミュニケーションをどうするのか、ということをは是非考えていただきたい。一方で、寝たきりの方でもVRで立体映像を見ることが出来ます。ネットとバーチャルリアリティという技術を使い、世の中がどんどん変化しています。それを高齢者の福祉につなげていけたら、とてもいいことだと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>区分に応じた施策をとということですが、今まで高齢者の方という大きな区分で行っていた事業等があるかもしれませんので、元気な高齢者の方、フレイルの方、要支援・要介護の方ともう一度認識したうえで、全庁的な考えとして施策を検討する必要はあると思います。人のコミュニケーションについても、Web会議、ネットで人とつながる、VRの体験等、現状を踏まえた新しい形態の過渡期になっていると思います。高齢者に向けた施策も新たに行う必要もあり、そういったコミュニケーションの取り方も視点に取り入れなくてはと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>資料3 P36 施策展開4のIの課題で、高齢者の移動手段が課題にあります。P21 第7生活圏域にける地元企業から移動支援への協力提案というものが書かれています。この提案どのようなものか教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>第7圏域にある豊野地域の住民懇談会に参加した地元企業の方から移動支援ができるという意見が出たとの報告を受け、このような記載となっています。実際には具体的な事業につなげるまでには至っていませんので、今後検討したいと思います。</p>

議長	<p>共助が出来るような組織が沢山出てくると、今春日部市が目指しているものが達成できると思います。今後さらに住民の力もつけていき、行政と共に力を注いでほしいと思います。</p>
委員	<p>高齢者層、特に単身高齢者、高齢者世帯の生活に困窮している方が増えていると感じています。P 1 の計画の趣旨にある高齢者のみの世帯の生活不安の早期解消や、P 27 の高齢者福祉施策の充実の中で要望の多い、ひとり暮らし高齢者に対する援助には見守りなども含まれると思いますが、今後の取り組みとして、P 40 地域共生社会の高齢者部門、生活困窮者部門など部門間の連携を図りつつ、高齢者の生活困窮などのところに対応、連携していくような内容を第 5 章以降でも取り組んでほしいと思います。</p>
事務局	<p>生活困窮者の方、一人暮らしの方などへの対応を踏まえた共生社会となりますが、地域でのつながりも課題となります。見守りや権利擁護や様々な事業を加えた中で実施した方が効果があるかなど検討しています。誰一人漏れることないように全庁的に対策を考えていきます。</p>
委員	<p>先程の事務局の説明で、要介護認定率は全国の数値よりも 4 % 程度低いとありましたが、これは「アクティブシニアが多い」ということなので市のアピールになると思います。春日部市は子育てしやすいまちとうたって、子育て世代の誘致をする施策があるので、今後はその施策と同時に、アクティブシニアが全国平均より 4 % 多いことを全面的にアピールしたら、将来的な見地から移り住む方が増えるかもしれません。なぜアクティブシニアが多いのか十分な検証は出来ていないとの事ですが、是非検証していただきその要因が介護予防の成果にあるならば、今以上に積極的に進めていただきたい。そのことを県内外にアピールしていただきたい。大変な作業であると思いますが、少しでも可能性があるならば前向きに検証していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>資料や成果、市民の皆様や地域包括支援センターなど、いろいろなところで意見を伺い、検証をしていきたいと思っています。</p>
委員	<p>今災害が多い中で、高齢者の災害時の避難場所、防災対策を春日部市はあまりやっていないように思います。地区ごとではやっていますが、高齢者がどこの避難所へ行けばよいのか、自治会に所属していない高齢者への対応はどうするのかなど、色々な課題が出てきているので、その辺のことをしっかりとしてほしいです。また、貧</p>

事務局	<p>困な高齢者に対してももう少し考えてほしいです。貧困は高齢者だけの問題ではなく、子供の貧困も多いです。</p> <p>いつ災害が起こるか分からない中で、住民の方々が不安を抱えていたり、どこに避難すればよいのか、自治会未加入者への支援などについて関係課とも連携して対応していく必要性もありますので、意見をお伝えしたいと思います。貧困に対しても高齢者の方だけではなく、広いテーマになってきますので、関係部門と連携しながら検討していきます。</p>
福祉部長	<p>災害について、春日部市の現状を説明します。</p> <p>昨年台風19号では全市民の方に避難勧告を出さざるを得ませんでした。これを受けて、本来今年の春先に準備予定であったハザードマップを、今一度市民の皆様からの意見等を集約し来春発行に向けて準備しています。行政だけでなく、企業や関係団体と協定を結ぶ中で、市民の方の力も借りながら災害に備えたいと考えており、現在様々なセクションが連携しています。その都度、自治会に加入・未加入関係なく全ての市民の方には情報発信をしていきます。続いて貧困対策については、コロナ以降非常に多くの相談をいただいています。社会福祉協議会ではマスク&フードドライブを実施しまして、市民の方から提供いただいた食料やマスクを必要な方に配布する取り組みも行ってきました。多くの必要としている方に手が差し伸べられるような施策を展開したいと考えていますので、必要な情報はその都度公表していきます。</p>
委員	<p>《承認》</p>
議長	<p>以上で議事は終了となります。</p> <p>資料が多い中、限られた時間の中での審議となりましたので、改めてご意見・ご質問がある場合は、後日事務局にご連絡いただき、事務局取りまとめのうえ次回の審議会でご報告いただけたらと思いますが、皆様いかがでしょうか。</p>
委員	<p>異議なし</p>
事務局	<p>お手数ですが、書面やFAX、メール等にて10月7日（水）頃までに意見をいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
議長	<p>これで議長の職を解かせていただき、事務局へお渡しします。</p>

<p>事務局</p> <p>副会長</p>	<p>【4 その他】</p> <p>次回の審議会は11月4日（水）午後1時30分から「春日部市役所本庁舎2階 全員協議会室」にて開催予定です。</p> <p>【5 閉会】</p> <p>《閉会あいさつ》</p>
<p>議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>令和2年10月26日</p> <p>署名者の職・氏名 春日部市高齢者保健福祉計画等推進審議会 会長 北島 義典</p>	